

令和6年度 桂川中学校ブロック小中一貫教育構想図

小中一貫 9年間の教育目標

「互いの生き方・考え方を尊重し合える関係を築き、自己の可能性を信じ、進もうとする児童生徒の育成」

めざす子ども像

- つながろうとする子
- そうぞうしようとする子
- こうどうしようとする子

育みたい資質・能力

- つながる力
他者との関係を築くことのできる力
- そうぞうする力
・相手の気持ちや未来の自分の姿を想像する力
・新しいことを生み出し、社会や人生を豊かにする創造力
- こうどうする力
自らの判断のもと、自ら動き出せる力

これら3つの力を支える土台は「健康に生きる力」である。

「発信力・行動力を身につけ、自己肯定感を得られる生徒の育成」

<目指す子ども像>

あらゆる教育活動に主体性をもって取り組み、自分の夢や希望が語れる生徒

- (1) 自分の思いや考えを分かりやすく、他者へ伝えることができる。
- (2) 自身の意志や考えに基づき、行動することができる。
- (3) 自分や他者を大切にできる。

<目指す教職員像>

あらゆる教育活動を通して、「生き方・生き合い方」を伝えていく教職員

- (1) 教育に対する情熱と使命感をもつ教職員
- (2) 「子どもの心」に寄り添い、「子どもの心」の中に生きる教職員
- (3) 「専門職」としての誇りを持ち、生涯学び続ける教職員

川岡小

川岡教育をさらに前へ！その先へ！

(学校教育目標)

自分も人もしあわせになる学校をめざして

～かしこくなる やさしくなる えがおになる～



(学校経営方針)

キャリア教育の視点に立った教育活動の推進

人や社会とのつながりの中で、自分を見つめる「メタ認知力」と、自分の足あとを生かす「自己動機付け」を積み重ねていく教育

子どもから引き出す
3つの感情

育成を目指す
3つの資質・能力

「うれしい！」

協働する力

「わくわく！」

取捨選択する力

「だいすき！」

アウトプットする力

教科・領域等のカリマネを通して、子どもたちの成長するストーリーを可視化する

川岡東小

【学校教育目標】

仲間とともに

よりよい社会を創り出す子ども

～自ら学ぶ力を高め、豊かな人権感覚を育み、心身の健康を保ちながら～
具体的な姿

- ・自らあいさつができ、はきものがそろえられる姿
- ・意欲的に学習に取り組み、仲間との交流を楽しむ姿

めざす教職員像

子どもに背中を見せることができる教職員集団

学校教育目標の具現化に向けて、職責を自覚し、自己研鑽に努め、教職員との連携を深めながら、粘り強く実践できる教職員集団をめざす

めざす学校像

<『変化充実』の精神でちゃんとやりきる川岡東>
たくましく社会を生き抜くことができる子どもを育むことを第1に考え、地域の特性を踏まえ、地域の中で、地域とともに歩むことができる学校づくりをめざす
『地域が誇れる学校をめざして』

桂東小

【学校教育目標】

人も自分も大切に、

ともに前に進んでいける桂東の子

めざす学校像

子どもも大人も

みんなが通いたくなる学校

～わくわくが止まらない魅力あふれる桂東小学校～

桂東小学校を素敵な出会いの場・

成長できる場・チャレンジの場に

- 「みんなでやっていく」を合言葉に！
全児童と全教職員で、安心&わくわくする学校をつくっていく。(当事者意識、自分たちでつくる経験)
- 基礎学力を育む場
- 社会性の土台を築く場
- 失敗する権利・責任をとる経験を積める場
前向きなこと みんなのためにすること
▣『まず やってみる』…失敗をおそれない
▣『やり直せる』という安心感 その経験を積む場
- 信頼できる大人に出会う場

小中一貫教育の充実 (児童生徒の交流・ブロック合同教職員研修)

家庭、地域との連携・信頼関係の構築

学校評価の活用 (小中合同学校運営協議会での共有)

開かれた学校づくりの推進